



ご存知
ですか？

知っておきたい！

妊娠糖尿病

妊娠・出産は女性にとって大きなライフイベントです。妊娠中は胎盤から出るホルモンの影響や、おなかの赤ちゃんの発育によって女性の身体は大きく変化します。妊娠糖尿病とは、妊娠をきっかけとして初めて糖代謝異常（血糖値が高くなる）が発見されたり、あらわれたりすることをいいます。



妊娠糖尿病の影響って、
どんなことがあるの？

赤ちゃん

- ・巨大児 ・難産
- ・出産直後の赤ちゃんの低血糖
- ・将来の肥満の可能性など

母親

- ・将来の糖尿病発症率の上昇
- ・妊娠高血圧症候群など

母子ともに
影響があるんです！！



まずは、妊婦健康診査でしっかりcheck！
産後も定期的に検査を受けましょう！

どんな事に
気をつければ
いいの？



妊娠中の留意点

- お腹の赤ちゃんの成長には、お母さんからもらう栄養がとても大切です

妊娠糖尿病の診断を受けた後の食事については、医師・助産師・栄養士等に相談しながらすすめていきましょう。

●医師の説明を守り、生活管理をしましょう

妊娠糖尿病と診断された方には、産科医師より「妊娠糖尿病手帳」が配布されます。

血糖値の結果は、妊娠糖尿病手帳に記入しましょう。また、食事や生活指導を受け、医師と相談しながら妊娠糖尿病手帳を活用し自己管理しましょう。



詳しい
リーフレット
はこちら！！

出産したら
治るの？



出産後の留意点

- 産後1～3ヵ月以内に医療機関で検査を受けましょう

この時期は、妊娠の影響がとれた状態での糖代謝がわかります。血糖値が正常に戻ることが多いですが、中には糖代謝異常が残る方もいます。

●産後は定期的に医療機関で検査を受けましょう

産後に血糖値が一時的に正常となっても、将来的に糖尿病になりやすいといわれています。定期的に医療機関で検査を継続しましょう。

●妊娠糖尿病と診断された方は、次の妊娠時に産科医師に伝えましょう

妊娠中に、妊娠糖尿病と診断されたことのある方は、次回妊娠時の初診に、産科医師に必ずお伝えください。



浜松市
妊娠糖尿病情報

【発行】浜松市健康増進課 浜松市中央区鴨江二丁目11-2 電話 053-453-6117
【監修】糖尿病のよりよい連携医療をめざす会